

# 第52回 鹿児島・岐阜青少年ふれあい事業

令和6年7月26日(金)～29日(月)

薩摩藩が行った木曾三川の治水工事を縁に昭和47年から始まった「鹿児島・岐阜青少年ふれあい事業」。52回目となる今回は鹿児島県から20人の青少年が岐阜県を訪問しました。両県の歴史的な関わりを学びながら、友情や絆を深めた様子をご紹介します。

1 日目  
対面式  
宝暦治水関連視察  
岐阜県副知事表敬訪問  
交換夕食会



薩摩義士を祭っている治水神社で宮司さんの講話を聞き、薩摩義士の偉業を改めて実感しました!



献水



2 日目

鮎のつかみ取り  
飯ごう体験  
郡上八幡散策  
共同研修1



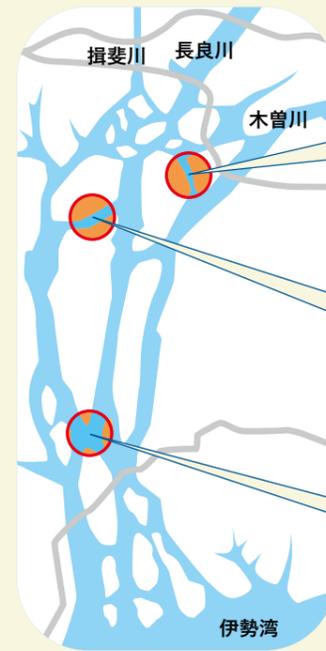
鮎のつかみ取りに挑戦! 自然のありがたさを実感しました



### 宝暦治水とは?

江戸幕府に木曾三川(木曾川・長良川・揖斐川)の河川改修工事のお手伝い普請※を命じられた薩摩藩が、宝暦4(1754)年2月から翌年5月にかけて行った治水工事のこと。薩摩藩家老の平田鞠負を総奉行として、約1000人の藩士が工事に当たり、1年3か月という極めて短期間で完成。その一方で、平田鞠負をはじめ80人以上もの死者を出し、多額の出費で藩財政にも深刻な影響を与えました。岐阜県では、この難工事を完成させた薩摩藩士たちを「薩摩義士」と敬い、現在でもその偉業はたたえられています。

※幕府が命じた工事のこと。名目はお手伝いだが、実際は工事費用のほとんどを藩に負担させるものだった。



ぎやくかわあらいげき  
**逆川洗堰締切工事**  
木曾川から長良川に一気に流れ込み、氾濫しやすい場所であった。洗堰は長さ18m、高さ3m。

おおくれがわあらいげき  
**大樽川洗堰締切工事**  
増水時に長良川から大樽川に流れ込む水量を抑える目的で築かれた。別名「薩摩堰」。

あぶらしま  
**油島締切工事**  
堤の長さは約1km。舟に石を積んで運び、舟ごと沈める、ということを繰り返して造られた。

宝暦治水の工事箇所と当時の略図

3 日目

白川郷合掌造り  
集落見学  
共同研修2



年代や立場が異なるメンバーでの話し合いは気づきがたくさんありました!



テーマは「岐阜県をうりこめ大作戦」! 8つのグループに分かれ、話し合ってきた内容を発表しました



岐阜県の皆さんから岐阜の魅力がたくさん教えてもらい、岐阜県民の郷土愛も感じる事ができました!



1日目に交換していた県旗の返還

4 日目

お別れ式



### 鹿児島・岐阜青少年ふれあい事業

鹿児島県と岐阜県の青少年がお互いの県を訪問し、両県の歴史的関わり合いを認識しながら友情の絆を深めることなどを目的とした『鹿児島・岐阜青少年ふれあい事業』は、昭和46年に両県が姉妹県盟約を結んだことをきっかけに、昭和47年から実施。鹿児島県からは岐阜県にある薩摩義士を祭る治水神社などを、岐阜県からは鹿児島市にある薩摩義士碑や平田公園などを訪れ、先人の偉業やその土地の素晴らしさに触れ、友好の絆を深めてきました。歴史的な関わり合いを学ぶ中で、異なる自然や文化体験を通して豊かな感性やたくましい想像力を身につけることを期待しています。

### 鹿児島県青年代表 河崎 咲也香さん



「思い切ってやってみよう!」と自分に何度か言い聞かせた4日間でした。青年代表という役割を担い、前に立って話をするという慣れないことへのプレッシャーもありましたが、少年たちの自信いっぱいの発表や立派なあいさつに何度も勇気づけられ、自分を鼓舞してやりきることができました。話すことが前よりも少し好きになれたのが大きな成果です。

共同研修では、年齢や立場が異なるからこそ話し合いは活発になり、新しい視点への気づきもありました。最後には私たちにしかできない発表に仕上げることができたと思います。

昨年の鹿児島県を「知ってもらおう立場」から、岐阜県を「知りに行く」立場となり、知ってもらおう楽しさ、知る楽しさ、どちらも経験することができました。大人になってからはなかなかできない、すてきな出会いとたくさんの経験を存分に楽しむことができた、有意義で忘れられない4日間となりました。本事業に携わっていただいた両県の多くの方々に感謝申し上げます。

### 鹿児島県少年代表 中川路 芽衣さん



今回の研修では「自分の言動に責任を持ち、相手を尊重する」ということを一番の目標にしました。年が離れた参加者との交流が多い中、自分に何ができるのか常に考えながら行動し、意見しやすい環境を班全員で作りました。価値観が異なるからこそその意見を伝え合い、認め合い、尊重することができたように思います。少年代表として全体でありさつをする機会も多くいただき、その度に、全員の想いを代弁し、誠心誠意感謝の気持ちを言葉にするように努めました。

この研修を通じて、最高の仲間に出会い、多くの価値観や文化に触れ、大きく成長することができたと思います。

本事業のきっかけとなった宝暦治水を成し遂げたふるさとの偉人。この偉業を270年近くたった今でも語り継ぎ、ご縁を大切にくださっている岐阜県・鹿児島県の方々。

この深い感謝の気持ちを忘れずに、歴史や文化の中で生き続けている絆を後世へと受け継ぎ、鹿児島県と岐阜県の懸け橋の一助となることを誓います。